

日本発インシュアテックの挑戦 10

(株)シナモン

ホワイトカラーの生産性向上へ

非定型帳票のAIIOCR等提供

「創造あふれる世界を、AIと共に」をビジョンに掲げる(株)シナモン(東京都港区、平野未来代表取締役社長CEO)は、AIに関連するさまざまなプロダクトやコンサルティングサービスを提供している。同社が独自開発した最先端の非定型帳票対応のAIIOCR「Flax Scanner(フラックス・スキャナー)」や音声認識AII自然言語処理「Rossa Voice(ロッサ・ボイス)」、文章を理解するAII「Aurora Clipper(オーロラ・クリッパー)」は、大幅な業務効率化と生産性向上につながるとして業界・業種問わずさまざまな企業が導入しており、多くの保険会社も導入している。「AIを競争戦略として捉えることが重要だ」と語る平野CEOに、同社の強みや今後の展望などを聞いた。



平野CEO

同社は2012年10月、シンガポールに創業し、13年1月にベトナム・ハノイに開発拠点を立ち上げ、モバイルアプリ

事業を開始した。その後、16年1月にAIIラボを開発して人工知能事業を開始し、同年10月に東京に拠点を設けた。19年

に第三者割当増資および融資によって約15億円の資金調達を実施し、日本の事業展開を加速させており、経団連が推進するAII活用戦略に基づき社会・産業・企業のAII Ready化の支援に取り組んでいる。

「また、「デジタル」「構造化」「アンケート」をリサーチプラットフォームにした独自のAIIプラットフォームを構築しており、これまで蓄積してきたノウハウを組み合わせたAIIソリューションを提供している。

「フラックス・スキャナー」は、請求書のアウトが異なり、取得項目の場所が無数に変わるような非定型帳票の場合でも、各項目の特徴を学習させることで、事前の帳票定義なしで対象項目

AI競争戦略と捉えることが重要

同社では、企業が保有するデータの約8割は非構造化データといわれていることから、日本の企業のDX化が進まない課題の一つに「非構造化デ

リサーチチャートと、各業界のビジネスに精通したメンバーがAIIアルゴリズム構築からシステム開発まで一気通貫で対応して

具体的に提供しているAIIサービスは、「フラックス・スキャナー」「ロッサ・ボイス」「オーロラ・クリッパー」の

を自動読み取りする。自然言語処理技術を活用することで、書類などの中から重要論点抽出や帳票の分類なども可能だ。

が、「フラックス・スキャナー」はAIIOCRを用いた確信度による制御が可能ことから、第一生命では、他ベンダー

のOCRと組み合わせ、全体で定型・非定型帳票において9割を超える読み取り精度を実現。第一生命は今後も導入範囲を拡大することで、年間約300万件の手続きにおける目視での書類点検や、記載内容の入力業務などの約40%の効率化を目指すという。

(注) AIなどによって自動化が進んだ機械やシステムにおいて、一部の判断や制御にあえて人間を介在させること。

AI-OCR基盤の概要(第一生命の事例)

